

教育研究評議会報

総務部総務課

平成21年4月28日（火） 教育研究評議会

審議に先立ち、学長から新任の構成員等の紹介、井手副学長から新人事務系幹部職員の紹介があった。

審議事項

- (1) 琉球大学学則の一部改正（案）について
総務課長から、琉球大学学則の一部改正（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
- (2) 琉球大学教育研究評議会規程の一部改正（案）について
総務課長から、琉球大学教育研究評議会規程の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
- (3) 琉球大学全学教育委員会規程の一部改正（案）について
総務課長から、琉球大学全学教育委員会規程の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
- (4) 琉球大学大学院委員会規程の一部改正（案）について
総務課長から、琉球大学大学院委員会規程の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
- (5) 琉球大学全学教員人事委員会規程の一部改正について
学長から、琉球大学全学教員人事委員会規程の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

報告事項

- (1) 第二期中期目標・中期計画について
大城副学長から、第二期中期目標・中期計画について、資料に基づき報告があった。
なお、評議員から、学部で議論する時間をもう少しいただきたい旨の発言があり、大城副学長から、作業が大幅に遅れている状況であるため、各学部のご協力をいただきたい旨の発言があった。
- (2) 平成21年度年度計画の重点項目と推進管理システムについて
大城副学長から、平成21年度年度計画の重点項目について、新里副学長から、平成21年度推進管理システムについて、資料に基づき報告があった。
- (3) 目的積立金による施設整備の進捗状況について
施設運営部長から、目的積立金による施設整備の進捗状況について、資料に基づき報告があった。
なお、評議員から、目的積立金による施設整備事業の決定に係る経緯等について質問があり、学長から、特に全学の学生に関わるものを優先する必要がある旨の発言があった。
また、宮城副学長から、各部局等の意見を反映させるべく、環境・施設マネジメント委員会及び部局長等懇談会において報告した旨の説明があった。
- (4) 全学教員人事委員会の審議結果について
大城副学長から、第67回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。
- (5) 平成21年度科学研究費補助金内定状況について
研究協力課長から、平成21年度科学研究費補助金内定状況について、資料に基づき報告があった。

(6)平成21年度入学者数について

新里副学長から、平成21年度入学者数について、資料に基づき報告があった。

(7)平成21年度補正予算案について

宮城副学長から、平成21年度補正予算案について、資料に基づき報告があった。

(8)その他

① ブタインフルエンザに対する注意喚起について

学長から、ブタインフルエンザに対する注意喚起について、近日中に全学的な通知を出す予定であるが、各部局等においては、適切に対応してほしい旨の発言があった。

② 中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果における評定の状況について

学長から、中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果における評定の状況について、資料に基づき説明があった。

学長から、評価結果は、6年が終了した後の評価よりも、4年目の暫定評価が非常に重要であった。また、本学の評価結果は、九州の他の同規模大学と比べ低くなっている。この評価結果が低かった原因については、いろいろな項目についてまんべんなく盛り込んでいたこと等が考えられる。さらに、文部科学省によると、この評価結果が運営費交付金の配分に反映されるとのことであるため、今後は、重点項目に的を絞り、チームで取組み、大型の科学研究費補助金を獲得していかなければならない旨の発言があった。

③ 平成20年度版国立大学の財務について

学長から、平成20年度版国立大学の財務について、資料に基づき説明があり、非常勤講師の採用については、本職（他大学等）を持っている場合及び儀礼的な相互交流を目的とした大学間の招聘を今後は行わないこと、長期に渡り本学で勤務いただいた非常勤講師及び本学の講義で生計を立てている非常勤講師については配慮すること等の視点に立って対応してほしい旨の説明があった。

④ ラオス国立大学附属小学校の建設事業について

学長から、去る4月23日から26日にかけてラオスへ出張したこと、ラオスへの教育支援の一貫としてのラオス国立大学附属小学校の建設が完成したこと、今後は本学とラオス国立大学との教育分野での連携協力の拠点としての活用が想定されていることについて、報告があった。

⑤ 第2回びぶりお文学賞受賞作品集について

学長から、第2回びぶりお文学賞受賞作品集が発行された旨の報告があった。

⑥ 「融解する境界 やわらかい南の学と思想・2」の発行について

学長から、「融解する境界 やわらかい南の学と思想・2」が発行された旨の報告があった。

⑦ 入試広報に関するヒアリングについて

評議員から、4月16日～30日の日程でアドミッション・オフィス室長が各学部担当教員からレクチャーを受ける形で行っている入試広報に関するヒアリングについて質問があり、大学教育センター副センター長から、報道機関による報道が強烈であったことにより、AO入試の募集を停止している大学が多いという印象を与えたかもしれないが、実際には、募集を開始する大学が増えている状況である。また、基礎学力を向上させるため、文部科学省によると、AO入試の願書受け付けを8月1日以降に限定する方針を固めたようだ。今回のヒアリングについても、本学のAO入試の募集を停止するためではなく、よりよいものにしていくためのものだと思われる旨の発言があった。

教育研究評議会報

総務部総務課

平成21年5月26日（火） 教育研究評議会

審議事項

(1) 開学60周年記念事業募金について

宮城副学長から、開学60周年記念事業募金について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。なお、趣意書については、同窓会及び後援財団等と調整後、必要に応じ修正を加えることとなった。

また、学長から、意見等がある場合は、宮城副学長まで連絡して欲しい旨の発言があった。

報告事項

(1) 第二期中期目標・中期計画（素案）の進捗状況について

大城副学長から、第二期中期目標・中期計画（素案）の進捗状況について、資料に基づき報告があった。

なお、大城副学長から、今後の予定について説明があり、第二期中期目標・中期計画に関するシンポジウム（仮称）を6月19日に開催する予定であるので、各部局等においてもご協力いただきたい旨の発言があった。

また、学長から、「見直しに関する視点」が文部科学省から届き次第、各部局等へ通知する予定である。それを受けての修正について、時間的に難しい場合は、字句の修正は一任いただきたい。また、今日の素案について意見等がある場合は、大城副学長まで連絡して欲しい旨の発言があった。

(2) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、第68回及び第69回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(3) 就業規則の制定について

人事課長から、国家公務員の期末手当及び勤勉手当について臨時の人事院勧告が出されたことを受け、本学の給与支給基準は国家公務員の給与に準拠している旨の説明があり、就業規則の制定について資料に基づき報告があった。

また、就業規則の変更等に当たっては、職員の過半数を代表する者の意見を聴くこととされているが、過半数代表者の選出が困難であることから、規程案に対し、全職員から意見を聴取することとし、規程案に対する意見を5月28日までに人事課へ提出するよう通知した旨の発言があった。

(4) 平成20年度卒業生の就職状況について

内海就職センター准教授から、平成20年度卒業生の就職状況について、資料に基づき報告があり、平成19年度及び鹿児島大学と比較した説明があった。

また、内海准教授及び学長から、各学部の教員においては、学生の就職に係る指導をお願いしたい旨の発言があった。

学長から、就職状況について、他の同規模大学と比較し、問題点を洗い出す必要がある旨の発言があった。

(5) 琉球大学理事及び副学長の職務分担等（学長裁定）の一部改正について

総務課長から、琉球大学理事及び副学長の職務分担等（学長裁定）の一部改正について、資料に基づき報告があった。

なお、学長から、IT戦略・財団・同窓会・60周年記念事業担当副学長は宮城隼夫氏となる旨の説明があった。

(6) 国立大学法人琉球大学財務委員会規程の制定について

財務部長から、国立大学法人琉球大学財務委員会規程の制定について、資料に基づき報告があった。

学長から、財務委員会において、全学的な視点から予算等に関する審議をして欲しい旨の説明があった。

(7) その他

① UNEP（国際連合環境計画）日本協会設立に対する支援（発起人としての参画）について

理学部長から、UNEP（国際連合環境計画）日本協会設立に対する支援（発起人としての参画）について、本学も発起人として参画する方向で準備を進めている旨説明があった。

学長から、本学も発起人として参画する方向で検討したい旨の発言があった。

② 平成21年度第1回国立大学協会九州地区支部会議報告について

学長から、去る5月13日に開催された平成21年度第1回国立大学協会九州地区支部会議について報告があった。

③ 任期終了等に伴う委員の紹介について

学長から、5月31日付けで任期満了となる宮城隼夫 財務・施設・医療担当理事（副学長）及び秋永孝義大学評価センター長の紹介があった。

教育研究評議会報

総務部総務課

平成21年6月23日（火） 教育研究評議会

審議事項

(1) 第二期中期目標・中期計画（素案）について

大城副学長から、第二期中期目標・中期計画（素案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、基本的に原案について了承された。なお、文部科学省から指摘があった場合の修正については、提出期限もあることから、学長に一任いただきたい旨の発言があった。

法務研究科長から、司法試験合格率や修習生の質の問題等が問題になっている。文部科学省においても、平成22年から、法科大学院の定員数を減らす方向にあり、本学においても、定員を現状の30人から2割程度減らす予定である旨の説明があった。

学長から、加除訂正等がある場合は、必要に応じ修正を加えるため、企画課へ連絡して欲しい旨発言があった。

なお、評議員から、博士課程の見直しの方向性について質問があり、平副学長から、本学の博士課程の約55%が社会人であることから、地域の要請が大きいと考えられる旨の発言があった。また、学長から、博士課程は、後継者育成という問題もあり、内容の充実を図る必要がある。政界及び財界から、学士力の低さが指摘されているが、一方、日本の企業は、採用試験が早すぎるという矛盾がある旨の発言があった。

(2) 平成20事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

新里副学長から、平成20事業年度に係る業務の実績に関する報告書について、資料に基づき説明があり、審議の結果、基本的に原案について了承された。

なお、学長から、必要に応じ修正等を行うため、加除訂正等がある場合は、評価室へ連絡して欲しい旨発言があった。

また、学長から、今後は、重点項目に的を絞り、プロジェクトチームを組む等、大型の科学研究費補助金を獲得する努力をしていかなければならない旨の発言があった。

(3) 利益相反マネジメント体制（案）について

地域連携推進課長から、利益相反マネジメント体制について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

なお、学長から、意見等がある場合は、地域連携推進課まで連絡して欲しい旨の発言があった。

(4) 国立大学法人琉球大学職務発明等規程の一部改正について（案）

地域連携推進課長から、国立大学法人琉球大学職務発明等規程の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

(5) 琉球大学産学官連携推進機構規則の一部改正について（案）

地域連携推進課長から、琉球大学産学官連携推進機構規則の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

(6) 琉球大学生涯学習教育研究センター規則の一部改正について（案）

地域連携推進課長から、琉球大学生涯学習教育研究センター規則の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

(7) 工学部教員の授業妨害・暴力行為等に関する調査報告について

工学部長から、工学部教員の授業妨害・暴力行為等に関する調査報告について、資料に基づき説明があり、審議の結果、現在設置されている調査委員会において追加審議することが了承された。

報告事項

(1) 平成22年度概算要求事項について

財務企画課長及び施設企画課長から、平成22年度概算要求事項について、資料に基づき報告があった。

(2)平成21年度補正予算について

財務企画課長及び施設企画課長から、平成21年度補正予算について、資料に基づき報告があった。

(3)平成20年度決算（案）について

財務部長から、平成20年度決算（案）について、資料に基づき報告があった。

学長から、去る6月10日の国会における質疑応答について、文部科学省から以下のとおり報告があった旨の発言があった。

- ・『運営費交付金を機械的・一律に配布するよりも、各大学が自ら質を高める取組を促すため、引き続き運営費交付金の削減を行い、できる限り、教育は授業料、研究は科学研究費補助金等の競争的な資金で賄うことを目指すべきではないか』という意見があるが、文科省はどのように考えているのか」という質問に対し、文部科学大臣から、「教育の成果は、教育を受けた本人のみだけではなくて社会全体にも還元されるものである。また、日常的な研究活動に要する経費は競争的資金の措置ではなじまない」旨の発言があった。
- ・『国立大学』には毎年度多額の決算剰余金が発生し、ストックベースで約三千億円の積立金が累積していることを考慮すれば、国立大学法人が資金不足に陥っているとは言いがたい状況にあるという意見があるが、文科省の見解はどうか」という質問に対し、文部科学大臣から、「財務諸表上、計上されている積立金等は、国立大学法人会計基準に従って会計処理を行ったために生じる、いわば形式的、観念的利益であり、実際に法人に現金等が残っているものではございません」旨の発言があった。

(4)全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、第70回及び第71回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(5)全国一斉交通指導（千原地区）の結果について

施設企画課長から、去る6月1日～5日に実施した全学一斉交通指導（千原地区）の結果について、資料に基づき報告があった。

なお、学長及び施設企画課長から、今後の課題として、より詳細な調査の必要がある旨の説明があった。

(6)エコ・クリーンデーの実施について

施設企画課長から、7月15日に実施予定のエコ・クリーンデーについて、資料に基づき報告があり、各部局等への協力依頼があった。

なお、学長及び施設企画課長から、今年度は、エコアクション21認証取得計画の最終年度となるため、各部局等への協力依頼があった。

(7)その他

① 国立大学協会第16回通常総会報告について

学長から、去る6月15日に開催された国立大学協会第16回通常総会報告について、主に以下のことについて協議及び報告があった旨報告があった。

- ・中央教育審議会大学分科会における大学教育の構造転換について
- ・国立大学法人等の組織及び業務全般の見直しについて
- ・予算編成及び財政制度審議会について
- ・厳正な学位審査体制の確立について

教育研究評議会報

総務部総務課

平成21年7月28日（火） 教育研究評議会

審議事項

- (1) 国立大学法人琉球大学利益相反マネジメント規程の制定について（案）
- (2) 国立大学法人琉球大学医学部における臨床研究に係る利益相反マネジメント要項の制定について（案）
- (3) 国立大学法人琉球大学（医学部及び医学部附属病院を除く。）における臨床研究に係る利益相反マネジメント要項の制定について（案）
地域連携推進課長から、国立大学法人琉球大学利益相反マネジメント規程、国立大学法人琉球大学医学部における臨床研究に係る利益相反マネジメント要項及び国立大学法人琉球大学（医学部及び医学部附属病院を除く。）における臨床研究に係る利益相反マネジメント要項の制定について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。
また、地域連携推進課長から、今後の予定について説明があり、本規程の制定に伴い設置される利益相反マネジメント委員会で検討を行い、9月までに自己申告書の様式等マネジメントの詳細を示し、10月よりマネジメントを実施することとし、厚生労働省科研費の申請に間に合うよう進めたい旨の発言があった。
- (4) 琉球大学に置く講座等に関する規則の一部改正について（案）
総務課長から、琉球大学に置く講座等に関する規則の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。
なお、評議員から、教育学部においては今後、別表と異なる教員組織の見直しを考えている旨の発言があった。
- (5) 琉球大学大学院学則の一部改正について（案）
入試課長から、琉球大学大学院学則の一部改正について、資料に基づき説明があり、医学部長から、導入されるMD－PhDコースについての補足説明があった後、審議の結果、了承された。
- (6) ラオス健康科学大学（ラオス）との大学間交流協定締結について
学長から、ラオス国立大学からの医学部系学部の独立に伴い、これまで本学が実施していた医療支援及び研修、ラオス国立大学医学部との学術交流及び共同研究等を継続するために交流協定を締結する旨の発言があり、審議の結果、了承された。

また、国際課長から、大学間交流協定と同時に学生交流覚書も締結する旨の発言があった。
- (7) 男女共同参画支援室の設置に向けたアンケート調査について
新里副学長から、男女共同参画支援室の設置に向けたアンケート調査について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。
なお、本アンケートの実施にあたり、7月14日開催の部局長等懇談会において、修正意見等があれば事前に申し述べていただきたい旨依頼していたが、各学部等から特に意見はなかったため、一部に下線を加える他は原案どおりの内容で実施したい旨の説明があった。
また、評議員から、本学での障害者の雇用の現状について質問があり、人事課長から、国立大学法人における法定雇用率は2.1％で、昨年度から基準に達している旨の報告があった。
学長から、女性教員及び障害者の雇用はまだ少ない方であるため、今後は積極的に雇用していきたい旨の発言があった。

報告事項

- (1) 平成20年度監事監査意見書について
小池監事から、平成20年度監事監査意見書について、資料に基づき報告があった。
また、小池監事から、本意見書を学内向けHPに掲載予定のため、各学部で確認いただき、修正等があれば連絡願いたいこと、修正後に経営協議会委員へ本意見書を送付したい旨の発言があった。
学長から、本意見書を真摯に受け止めてしっかり対応していきたい旨の発言があった。

(2) 共同利用・共同研究拠点の認定について

研究協力課長から、本学熱帯生物圏研究センターが、共同利用・共同研究拠点として、文部科学省から、「熱帯生物圏における先端的環境生命科学共同研究拠点」の認定を受けた旨の報告があった。

(3) 産学官連携拠点の選定について

地域連携推進課長から、文部科学省と経済産業省が本年度から共同で実施する「産学官連携拠点」について、本学が調整機関となり、沖縄県及び沖縄県工業連合会等と連名で提案した「沖縄健康バイオ産業振興発展に向けた産学官連携拠点」が選定された旨の報告があった。

(4) 地域産学官共同研究拠点整備事業について

宜保副学長から、地域産学官共同研究拠点整備事業について、資料に基づき概要説明があった。

地域産学官共同研究拠点のハード面の整備であり、大学の資源、整備を十分に活用するため、今後、各学部等と相談させていただきたい旨の発言があった。

(5) 平成20年度国際学術交流の現状について

国際課長から、平成20年度国際学術交流の現状について、資料に基づき報告があった。

なお、国際課長から、平成19年度から平成20年度にかけて派遣人数は増えているが、受入れ人数は減少していること、本資料からは、長期交流なのか短期交流なのか分かりづらいので、次回以降の資料は分かりやすいよう改善したい旨の説明があった。

(6) 教員業績評価の実施状況について

新里副学長から、教員業績評価の実施状況について、資料に基づき報告があった。

なお、学長から、自己点検シートの未提出者がいるが、自己点検が直接評価に繋がるものではなく、教員の研究活動の支援等に活用する予定で、今後さらに活用方法について検討していきたい旨の発言があった。

(7) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、第72回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(8) E A 2 1 現地審査について

施設企画課長から、E A 2 1 現地審査について、資料に基づき概要説明があった。

臨時教育研究評議会報

総務部総務課

平成21年8月11日（火） 臨時教育研究評議会

審議事項

(1) 工学部教員による非違行為に関する調査結果の報告について

金子調査委員会委員長から、工学部教員による非違行為に関する調査結果について説明があり、調査委員会として、教育研究評議会が、就業規則、懲戒等規程に照らして処分の量定に作業を進める必要があると決した旨の報告があった。

学長から、審査説明書の作成等、次の段階に取りかかりたい旨の発言があり、審議の結果、了承された。

また、学長から、8月7日に8月31日付けの退職願が当該教員から提出されたこと、退職手当の支給については、「国立大学法人琉球大学職員退職手当規程」に基づき、本件の審議結果を待って手続きを進める旨の発言があった。

(2) 法文学部教員の不祥事に関する報告書について

法文学部長から、法文学部教員の不祥事に関する懲戒について説明があり、法文学部教授会では、国立大学法人琉球大学職員就業規則第54条に照らして懲戒相当と判断した旨の報告があった。

学長及び新里副学長から、本学にも反省すべき点もあり、法文学部教員による不祥事への対応として、十分に調査、審議していきたい旨の発言があった。

また、学長から、調査及び審査説明書作成委員会を設置したい旨の発言があり、審議の結果、了承された。

報告事項

(1) その他

宜保副学長から、地域産学官共同研究拠点整備事業の申請に係る進捗状況について報告があった。

教育研究評議会報

総務部総務課

平成21年9月29日（火） 教育研究評議会

審議事項

(1) 教員の休職について

人事課長から、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり教員の休職が了承された。

(2) 平成22年度入試における新型インフルエンザへの対応について（案）

新里副学長から、平成22年度入試における新型インフルエンザへの対応について、資料に基づき説明があった。

また、学長及び新里副学長から、今後の対応については新型インフルエンザの蔓延状況及び国大協の最終方針を受け、検討していきたい旨の発言があった。

理學部長から、予備問題作成に係る今後の日程について質問があり、新里副学長から、問題を作成される委員の負担を考え、各学部から再度、委員を推薦していただくこととなる可能性がある旨の発言があった。

法文学部長から、後期日程の追試験の実施について、学年暦の変更や入学式等の日程の見直しについて質問があり、学長から、今後のインフルエンザの蔓延状況等を踏まえて検討していきたい旨の発言があった。

報告事項

(1) 国立大学法人琉球大学利益相反マネジメントポリシーの制定について

(2) 国立大学法人琉球大学臨床研究に係る利益相反マネジメントポリシーの制定について

(3) 国立大学法人琉球大学における利益相反状況に関する自己申告実施要領の制定について

地域連携推進課長から、国立大学法人琉球大学利益相反マネジメントポリシー等について、資料に基づき報告があった。

また、学長から、利益相反マネジメントポリシー等については随時見直しが必要と思われるので、ご意見等がある場合は、地域連携推進課まで連絡願いたい旨の発言があった。

(4) 「地域産学官共同研究拠点」提案について

地域連携推進課長から、「地域産学官共同研究拠点」提案について、資料に基づき報告があった。

(5) 平成21年度の予算執行（補正）について

財務企画課長から、平成21年度の予算執行（補正）について、資料に基づき報告があった。

なお、財務企画課長から、授業料免除の実施に係る財源については、6月期の期末・勤労手当の支給率改定による差額分を充当した旨の説明があった。

学長から、文部科学省が平成22年度概算要求において、授業料免除枠を現行の5.8%から6.2%に広げる要求をしているところであるが、本学では、5.8%以外に21世紀グローバルプログラムによる免除枠を設けており、それらを含めるとすでに6.2%に達している旨の発言があった。

評議員から、今後も期末・勤労手当等が授業料免除拡充の財源として充当されるのかという旨の質問があり、学長から、今回は特別に充当したこと、今後は21世紀グローバルプログラムの授業料免除制度の見直しを含め、対応していきたい旨の発言があった。

(6) 平成22年度概算要求事項について

財務企画課長から、資料に基づき、平成22年度概算要求事項について報告があった。

引き続き、施設企画課長から、概算要求に係る施設整備事業の文部科学省による事業評価結果等についての報告があった。

(7) 目的積立金による施設整備の進捗状況について

施設企画課長から、目的積立金による施設整備の進捗状況について、資料に基づき報告があった。

(8) 環境報告書2009の公表について

施設企画課長から、環境報告書2009の公表について資料に基づき説明があった。

なお、環境報告書を9月28日からホームページで公表している旨の報告があった。

(9) 学生表彰について

新里副学長から、資料に基づき、理工学研究科の学生4名（平成21年度9月修了）を表彰したことについて報告があった。

(10) 学生生活・学力向上支援総合プランについて

新里副学長から、学生生活・学力向上支援総合プランについて、資料に基づき報告があり、現在各部署でWGを立ち上げて学生への各種支援を検討していること、また、予算の確保として、概算要求や教育GPを検討している旨の発言があった。

農学部長から、健康増進支援事業に農場の活用という項目があるがどのような活用を検討しているのかという旨の質問があり、新里副学長及び学長から、WGとフィールドセンター長で調整をしているが、具体案が決まり次第農学部と調整していききたい旨の発言があった。

(11) 平成21年度琉大祭について

学生課長から、資料に基づき、10月3日（土）・4日（日）に開催される第58回琉大祭の実施について説明があった。

また、先日県内の各報道機関へPR活動を行ったこと、9月30日（水）に北谷町美浜で法政エイサーやジャグリングサークルによるPR活動を行う予定である旨の発言があった。

(12) 平成21年人事院勧告について

人事課長から、平成21年人事院勧告について、資料に基づき報告があった。

なお、琉球大学就業規則等について、人事院勧告に準拠して改正の準備をすること、人事院勧告についてはホームページ上で公表されているため、ご確認願いたい旨の発言があった。

(13) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、第73回及び第74回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(14) 物品調達等の取扱いについて

財務企画課長から、物品調達等の取扱いについて、資料に基づき説明があった。

なお、学長から、本件については財務部から各部局に説明を行う予定である旨の補足説明があり、各部局等におかれては不正使用防止の徹底に努めていただきたい旨の発言があった。

(15) その他

学長から、法文学部総合社会システム学科経営学専攻の4年次の学生が本学の財務状況を調査した、「琉球大学財務分析」を作成している。大変興味深い内容であるため、関心のある方は、大城副学長までご連絡願いたい旨の発言があった。

教育研究評議会報

総務部総務課

平成21年10月29日（木） 教育研究評議会

審議事項

(1) 工学部教員による非違行為に関する審査結果の報告について

金子委員長から、工学部教員による非違行為に関する審査結果の報告があり、引き続き、人事課長から、審査説明書（案）について、資料に基づき説明があった。

なお、学長から、審査説明書（案）の文言を一部修正すべきとの発言があった。

法務研究科長から、審査説明書（案）中の所属部局及び職名等の表記について質問があり、人事課長から、所属部局及び職名の表記については、在職時のものを括弧書きすることを検討したい旨の発言があった。

大学教育センター長から、処分の量刑の程度について、全国の例を参考にしたかという旨の質問があった。それに対し、人事課長から、官公庁・民間企業を含めても、停職処分を無視し出勤するとの前例は確認出来なかった旨の説明があった。

また、人事課長から、工学部元教員は8月31日付けで辞職されていることから、処分については、相当として扱う旨の補足説明があった。

引き続き、投票が行われ、投票の結果、出席評議員の過半数以上の同意が得られ、工学部元教員へ審査説明書の交付が了承された。

学長から、工学部元教員が審査説明書を受領後14日以内に陳情等の申し立ての請求をした場合には、臨時の教育研究評議会を開催すること、その場合、評議員には陳述の内容を含め再度量定について審議いただくことになる旨の説明があった。

(2) 国立大学法人琉球大学ハラスメント防止に関する指針（案）について

新里副学長から、国立大学法人琉球大学ハラスメント防止に関する指針（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

なお、農学部長から、農学部教員から、組合からの意見も聴取した方がいいのではないか、2箇所について文言の修正が必要ではないか等の意見があったこと、法務研究科長から、「モラルハラスメント」の定義について質問があり、学長及び新里副学長から、組合からの意見聴取については、規則等を制定する際に検討すること、文言については必要があれば注釈を付ける等で対応したい旨の発言があった。

また、学長及び新里副学長から、運用していく中で修正等の必要性があれば、迅速に対応していきたい旨の発言があった。

学長から、各学部長等に対して、ハラスメントを起こさせない未然の指導をお願いしたい旨の発言があった。

(3) 教員の休職について

人事課長から、教員の休職について、資料に基づき説明があり、審議の結果、提案どおり、教員の休職が了承された。

報告事項

(1) 全学教員人事委員会の審議結果について

人事課長から、第75回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(2) 平成21年度（第58回）琉大祭について

学生課長から、去る10月3日（土）・4日（日）に開催された第58回琉大祭の実施及び学外からの参加者数（約20,000人、昨年比5,000人減）について報告があった。

なお、準備段階で一人の学生がインフルエンザに罹患したため、当該学生の所属するグループは自宅待機させた旨の補足説明があった。

(3) 平成21年度（7月期募集分）学生援護会部局別寄附状況について

新里副学長から、平成21年度（7月期募集分）学生援護会部局別寄附状況について、資料に基づき報告があった。

(4) 平成22年度大学入試センター試験における追試験の実施について

入試課長から、平成22年度大学入試センター試験における追試験の実施について、資料に基づき説明があった。

- (5) E A 2 1 現地審査について
施設企画課長から、E A 2 1 現地審査について、資料に基づき説明があった。
- (6) その他
 - ① 国立大学協会第 1 7 回通常総会報告について
学長から、去る 1 0 月 2 6 日に開催された国立大学協会第 1 7 回通常総会について報告があった。

教育研究評議会報

総務部総務課

平成21年11月24日（火） 教育研究評議会

審議事項

(1) 学生の懲戒処分について（案）

新里副学長から、農学部調査委員会からの調査報告書、農学部教授会での審議結果及び学生生活委員会での審議結果について、資料に基づき説明があり、審議の結果、学生の懲戒処分（停学3ヶ月）が承認された。

理学部長から、学生生活委員会付帯意見にある停学期間中のボランティア活動の内容について質問があり、新里副学長から、詳細は未定で、現在検討中である旨の発言があった。

なお、農学部長から、学部として民間会社での無報酬労働など、社会的規律を認識させるための指導を予定している旨の補足説明があった。

理学部長から、学生生活委員会は、農学部から学生の懲戒の申請を受け、正しいプロセスに基づいて審議を行ったか、また、審議に係る書類が的確に残っているかという旨の質問があり、学長及び新里副学長から、規則に基づいた手続きを経ており、書類も残っている旨の発言があった。

(2) 平成22年度学年暦（案）について

教務課長から、平成22年度学年暦（案）について、資料に基づく説明に続き、新里副学長から、資料中の未定部分である、入学者選抜第2次試験（後期日程）については、入試管理委員会で、平成23年3月13日（日）～14日（月）に変更する予定である旨の発言があった後、審議の結果、原案どおり承認された。

(3) 元工学部教授からの意見書の提出について

人事課長から、元工学部教授からの意見書について、資料に基づき説明があった。

なお、人事課長から、11月12日付けの書面が元工学部教授から人事課宛てに提出されたが、本意見書をもって陳述書とするのか元工学部教授と連絡が取れず、確認できていない旨の補足説明があった。

審議の結果、元工学部教授から提出された意見書を次回の教育研究評議会までに目を通した上で、処分の量定について、次回の教育研究評議会でも再度投票を行うことが確認された。

報告事項

(1) 平成20年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

新里副学長から、資料に基づき、平成20年度に係る業務の実績に関する評価結果について報告があった。

(2) 本学の公費で購入した航空券の利用により取得したマイレージの取扱いについて

財務部長から、本学の公費で購入した航空券の利用により取得したマイレージの取扱いについて、資料に基づき報告があった。

(3) 平成22年度予算編成方針について

財務企画課長から、平成22年度予算編成方針について、資料に基づき報告があった。

(4) 平成22年度科学研究費補助金の申請状況について

研究協力課長から、平成22年度科学研究費補助金の申請状況について、資料に基づき報告があった。

(5) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(6) 共通教育等科目のプロフェッサー・オブ・ザ・イヤー（平成20年度）受賞者について
教務課長から、共通教育等科目のプロフェッサー・オブ・ザ・イヤー（平成20年度）
受賞者について、資料に基づき報告があった。

(7) 学生進路調査に係る各学部・研究科への協力依頼

就職課長から、2010年3月卒業・修了予定の学生の進路状況調査について、本
調査のデータを那覇公共職業安定所へ11月以降毎月報告する必要があること、また、
学校基本調査の基礎データになること等から、各学部・研究科においては学生への周知
及び調査票の登録（回収）に協力いただきたい旨の発言があった。

(8) EA21の全学認証について

施設企画課長から、EA21の全学認証・登録を受けたこと、本件について11月
18日（水）に記者発表を行ったこと、11月16日（月）～17日（火）に実施された
中間審査の報告書については、指摘を受けた事項について各ユニットで対応いただき、
最終的には来年11月予定の更新審査までに全ての指摘事項をクリアしたい旨、資料に
基づき報告があった。

附属病院長から、廃棄物の管理が指摘事項の一つに挙げられているが、附属病院では基
準に沿って適正に処理しており、監査も受けている旨の発言があった。

(9) 男女共同参画支援に関するアンケート調査結果について

新里副学長から、男女共同参画支援に関するアンケート調査結果について、資料に基
づく報告があった。

また、新里副学長から、早期に男女共同参画支援室を設置し、改善を要する事項につ
いて地道に対応していきたい旨の発言があった。

(10) 平成21年度予算執行状況について

財務企画課長から、平成21年度予算執行状況について、資料に基づき報告があった。

学長及び財務企画課長から、今年度は中期計画の最終年度であるため、予算の早期の
執行をお願いしたい旨の発言があった。

(11) その他

① 平成22年度年度計画の策定体制について

大城副学長から、平成22年度年度計画の策定体制について、資料に基づき報告が
あった。

② 開学60周年記念事業募金受入状況について

総務課長から、開学60周年記念事業募金受入状況について、資料に基づき報告
があった。

また、親川副学長から、募金の受付期限が平成22年3月31日までとなっている
が、各学部長等におかれては、早期の納付にご協力いただき、各学部の教職員へ募金
の協力を呼び掛けていただきたい旨の発言があった。

③ 琉球大学パネル展 in 那覇空港について

学長から、本日から空港2階のウェルカムホールで本学附属図書館所蔵の貴重書展
等を行っているため、機会があれば足を運んでいただきたい旨の発言があった。

④ 過半数代表者の選出について

井手副学長から、本学の就業規則の改正に係る過半数代表者の選出を行っているた
め、投票にご協力いただきたい旨の発言があった。

教育研究評議会報

総務部総務課

平成21年12月22日（火） 教育研究評議会

審議事項

- (1) 元工学部教員の非違行為に関する処分相当について
学長から、元工学部教員の非違行為に関する処分相当について資料に基づき説明があり、新里理事から元工学部教員と電話で行った意志確認について説明があった。引き続き、対応について審議が行われ、処分相当の妥当性について投票が行われ、出席評議員の3分の2以上の同意が得られたことから、元工学部教員の行った非違行為への対応として懲戒解雇相当が了承された。
- (2) 国立大学法人等の中期目標及び中期計画の素案の修正等について
大城副学長から、国立大学法人等の中期目標及び中期計画の素案の修正等について資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
- (3) 学生の懲戒処分について（案）
新里副学長から、学生の懲戒処分について資料に基づき説明があり、審議の結果、学生の懲戒処分（訓告）が了承された。
- (4) 琉球大学学生生活委員会規程の一部改正について
新里副学長から、琉球大学学生生活委員会規程を一部改正する旨、資料に基づき説明があり、審議の結果、一部字句を修正の上、了承された。
- (5) 情報システム運用管理体制等の整備について
宮城副学長から、情報システム運用管理体制を整備するため、「琉球大学情報化統括責任者等の設置に関する規程」、「琉球大学IT戦略室設置要項」及び「琉球大学全学情報システム運用委員会規程」を制定する旨、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
大学教育センター長から、部局総括責任者を置く学内共同教育研究施設の範囲について施設の規模を踏まえて再度検討した方がよいのではないかという旨の発言があり、宮城副学長から、全学情報システム運用委員会を立ち上げた後、そこで検討したい旨の発言があった。
学長及び宮城副学長から、情報セキュリティ監査についても、今後検討を進めていきたい旨の発言があった。

報告事項

- (1) 平成21年度予算執行（第二次）について
財務企画課長から、平成21年度予算執行（第二次）について、資料に基づき報告があった。
評議員から、人件費残額見込の内訳を教えてくださいという旨の発言があり、学長から、すぐには対応出来ないのでは、追って対応したい旨の発言があった。
- (2) 琉球大学立替払事務取扱要領について
契約課長から、琉球大学立替払事務取扱要領が12月15日付けで制定され、平成22年1月1日から施行する予定である旨、資料に基づき報告があった。
- (3) 全学教員人事委員会の審議結果について
大城副学長から、全学教員人事委員会の審議結果について資料に基づき報告があった。
- (4) 学生と学長との意見交換会について
学長及び新里副学長から、去る11月26日に開催された学生と学長との意見交換会について、資料に基づき報告があった。

(5)琉球大学学生援護会寄附金（１２月期）の募集について

新里副学長から、琉球大学学生援護会寄附金（１２月期）の募集についてご協力
いただきたい旨、資料に基づき報告があった。

(6)年末・年始の日程について

総務課長から、年末・年始の日程について報告があり、１月４日の学長年頭あいさつ
及び新年賀詞交歓会への参加の呼びかけがあった。

なお、学長年頭あいさつは映像配信を行う予定であるので、各部局等で是非ご活用いた
だきたい旨の説明があった。

(7)その他

特になし

教育研究評議会報

総務部総務課

平成22年1月26日（火） 教育研究評議会

審議事項

(1) 平成22年度年度計画（案）について

大城副学長から、平成22年度年度計画（案）について、資料に基づき説明があった。
なお、この年度計画案については、去る1月13日に開催された第7回策定委員会において、意見等があれば、2月15日に開催される第8回策定委員会までに策定委員会委員を通して連絡いただきたい旨の説明があった。

また、今後の年度計画策定に当たってのスケジュールとして、2月開催の教育研究評議会、3月18日開催の経営協議会、3月開催の教育研究評議会及び役員会で審議した上で、3月末までに文部科学省へ提出する予定である旨の説明があった。

(2) 国立大学法人琉球大学男女共同参画室設置要項（案）の制定について

新里副学長から、国立大学法人琉球大学男女共同参画室設置要項（案）の制定について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

なお、新里副学長から、各部局長等におかれては、室員の推薦をお願いしたい旨の発言があった。

(3) 琉球大学学則の一部改正について

教務課長から、琉球大学学則の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

報告事項

(1) 国立大学法人等の中期目標及び中期計画の素案の修正等について

大城副学長から、国立大学法人等の中期目標及び中期計画の素案の修正等について、資料に基づき説明があった。

また、修正後の素案については、1月20日に文部科学省へ提出した旨の説明があった。

(2) 平成22年度概算要求内示について

財務企画課長から、平成22年度概算要求内示及び平成22年度施設整備費概算要求内示について、資料に基づき説明があった。

なお、文部科学省から、施設整備事業で要求した「基幹・環境整備」の一部の事項について、平成21年度追加予算で措置予定であるとの連絡を受けている旨の発言があった。

(3) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、全学教員人事委員会の審議結果について資料に基づき報告があった。

(4) 大学入試センター試験について

新里副学長から、去る1月16日及び17日に実施された大学入試センター試験について報告があった。

(5) 琉球大学開学60周年記念式典の主な行事日程について

井手副学長から、琉球大学開学60周年記念式典の主な行事日程について、資料に基づき説明があった。

(6) その他

① 医学部の大学院の部局化について

学長から、医学部の大学院の部局化について、今後、必要な規程改正を行っていく旨、資料に基づき説明があった。

教育研究評議会報

総務部総務課

平成22年2月23日（火） 教育研究評議会

審議事項

(1) 平成22年度年度計画（案）について

大城副学長から、平成22年度年度計画（案）について、資料に基づき説明があり、この年度計画案については各部局等へ持ち帰り検討の上、意見等があれば連絡いただきたい旨の説明があった。また、今後の年度計画策定に当たってのスケジュールとして、3月18日開催の経営協議会、3月の教育研究評議会及び役員会に提案した上で、3月末までに文部科学省へ提出する予定である旨の説明があった。

(2) 法文学部教員の不祥事に関する報告書について

法文学部教員の不祥事に関する調査及び審査説明書作成委員会委員長から、法文学部教員の不祥事に関する調査報告書について、資料に基づき報告があった。

委員長から、法文学部教員の懲戒に関する検討委員会による審議の結果、当該教員の本人行為が、就業規則第54条第5号及び同条第6号に定める懲戒事由に該当するとの結論を出した旨の報告があった。

学長から、調査書作成の段階に移りたいが、3月で任期を迎える委員がいることから、臨時の教育研究評議会を開催し、本件について早々に審議を進めていきたい旨の発言があった。

(3) 琉球大学海外拠点形成について

平副学長及び国際課長から、琉球大学海外拠点形成について、資料に基づき説明があり、ハワイ大学等を本学の拠点形成の候補地として調整・検討中である旨の発言があった。

また、国際課長から、琉球大学海外拠点要項（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

報告事項

(1) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、第79回全学教員人事委員会の審議結果について資料に基づき報告があった。

(2) 平成22年度入学志願者数（一般）及び前期・後期日程試験について

新里副学長から、平成22年度入学志願者数（一般）及び前期・後期日程試験について、資料に基づき報告があった。

引き続き、新里副学長から、2月25日～26日に実施する前期試験、3月12日～13日に実施する後期試験及び追試験について協力依頼があった。

(3) 琉球大学環境・施設マネジメント委員会規程の一部改正について

施設企画課長から、琉球大学環境・施設マネジメント委員会規程の一部改正について、資料に基づき報告があった。

(4) 琉球大学亜熱帯島嶼科学拠点研究棟使用規程について

施設企画課長から、琉球大学亜熱帯島嶼科学拠点研究棟使用規程の制定について、資料に基づき報告があった。

(5) 国立大学法人琉球大学エネルギー管理要項について

施設企画課長から、国立大学法人琉球大学エネルギー管理要項の制定について、資料に基づき報告があった。

(6) 琉球大学開学60周年記念事業募金受入状況報告

親川副学長から、琉球大学開学60周年記念事業募金受入状況について、資料に基づき報告があった。

宮城副学長から、教職員にあっては、積極的に寄附に協力いただきたいこと、ま

た、3月1日に江戸立探検隊のフォーラム及び「旅立ちの宴」を開催するので、参加いただきたい旨の発言があった。

(7) その他

① 琉球大学学生援護会部局別寄附状況について

新里副学長から、琉球大学学生援護会部局別寄附状況（12月期）について、資料に基づき報告があった。

② 文部科学省からの説明事項について

学長から、去る2月5日に開催された九州地区学長会議での文部科学省からの説明について、資料に基づき報告があった。

- ・評議員から、学内補正予算における施設の改修の中でR I施設の廃止が盛り込まれているようだが、事実かどうか確認したい旨の発言があり、屋熱帯生物圏研究センター長から、R I施設は事業所閉鎖となるが、全国共同利用施設の管理の下に、使用制限以下であれば機器分析支援センター内で使用することができる旨の発言があった。

臨時教育研究評議会報

総務部総務課

平成22年3月16日（火） 臨時教育研究評議会

審議事項

(1) 法文学部教員の不祥事に関する審査結果の報告等について

高良審査説明書作成委員会委員長から、法文学部教員の不祥事に関する審査結果について資料に基づき説明があり、審議の結果、審査説明書（案）の文言を一部修正のうえ、了承された。

引き続き、投票が行われ、出席評議員の過半数以上の同意が得られたことから、法文学部教員の不祥事への対応として審査説明書の交付が了承された。

報告事項

(1) その他

① 大学入試センター試験英語リスニングテストの機器の不具合について

学長から、大学入試センター試験英語リスニングテストの機器の不具合について、機器そのものの不具合は極めて稀で、大方は操作段階でのミスであることが判明していることから、今後試験監督にあたる先生にあつては、受験生がリラックスした状態で試験に臨めるよう、配慮願いたい旨の発言があった。

② 不発弾処理について

学長及び親川副学長から、3月11日に工学部の駐車場から1個の不発弾を発見されたことから、沖縄県警に連絡し、3月15日に撤去した旨の報告があった。

教育研究評議会報

総務部総務課

平成22年3月30日（火） 教育研究評議会

審議事項

- (1) 法文学部教員による不祥事に関する懲戒処分書の審査等について
学長から、法文学部教員による不祥事に関する懲戒処分書の審査等について、資料に基づき説明があり、その後、被申立人の請求により、陳述が行われた。
引き続き、投票が行われ、出席評議員の過半数以上の同意が得られたことから、法文学部教員に対する懲戒処分として、諭旨解雇が了承された。
- (2) 平成22年度年度計画（案）について
大城副学長から、平成22年度年度計画（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。なお、3月31日に文部科学省へ提出するため、今後の修正については、学長に一任願いたい旨の発言があった。
- (3) 学生の懲戒処分について（案）
新里副学長から、工学部学生の非違行為について、資料に基づき説明があり、審議の結果、懲戒処分（訓告）とすることです了承された。
なお、評議員から、被害者側のケアも十分にしていきたいという旨の発言があり、新里副学長から、被害者側のケアについては、被害者の保護者も懸念していることもあり、カウンセリングの実施など、しっかり取り組んでいきたい旨の発言があった。
- (4) 琉球大学学則等の一部改正（案）について
 - ① 琉球大学学則の一部改正（案）について
 - ② 琉球大学大学院学則の一部改正（案）について
 - ③ 琉球大学に置く講座等に関する規則の一部改正（案）について
 - ④ 琉球大学教育研究評議会規程の一部改正（案）について
 - ⑤ 琉球大学部局長選考規程の一部改正（案）について
 - ⑥ 琉球大学副学部長選考規程の一部改正（案）について
 - ⑦ 琉球大学名誉教授称号授与規程の一部改正（案）について
 - ⑧ 琉球大学名誉教授称号授与規程に関する申合せ事項の一部改正（案）について総務課長から、上記8件について、資料に基づき説明があり、審議の結果、②～⑧について原案どおり了承された。
①については、第2条を、「本学の教育研究上の目的を達成するため」と改めることです了承された。
- (5) 琉球大学大学院委員会規程の一部改正（案）について
教務課長から、琉球大学大学院委員会規程の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
- (6) 外国人客員研究員規程の一部改正（案）について
国際課専門員から、外国人客員研究員規程の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
- (7) 就業規則等の改正（案）について
人事課長から、就業規則等の改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
- (8) 教員の休職について
人事課長から、教員の休職について、資料に基づき説明があり、審議の結果、提案どおり、教員の休職が了承された。
- (9) 名誉教授候補者の選考について
学部長等から、各候補者の功績について説明があり、その後、称号授与の可否について投票が行われた。

投票の結果、候補者全員が出席評議員の過半数以上の同意が得られ、名誉教授の称号を授与することが了承された。

報告事項

- (1) 第二期中期目標・中期計画について
大城副学長から、中期目標について、3月29日に文部科学大臣から提示されたこと、それを受けて、中期計画の認可申請について指示があり、遺漏なく手続きを終えた旨の報告があった。
- (2) 全学教員人事委員会の審議結果について
大城副学長から、第80回及び第81回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。
- (3) 学生表彰（3月期）について
新里副学長から、学生表彰（3月期）について、資料に基づき報告があった。なお、去る3月23日の学部卒業式及び大学院修了式において、表彰した旨の報告があった。
- (4) 一般入試の実施について
新里副学長から、前期及び後期日程試験が無事に終了した旨の報告があった。
- (5) 琉球大学構内交通対策実施要項の一部改正について
施設企画課長から、琉球大学構内交通対策実施要項の一部改正について、資料に基づき報告があった。
- (6) 「キャンパス・リファイン計画ステージⅡ2009」について
施設運営部長から、「キャンパス・リファイン計画ステージⅡ2009」について、資料に基づき報告があった。
- (7) その他
 - ① 研究推進戦略室研究企画員の推薦について
平副学長から、4月9日（金）までに各部局から3名ずつ、研究推進戦略室研究企画員を推薦願いたい旨の発言があった。
 - ② 事務職員の不祥事について
井手副学長から、平成16年当時、附属病院事務部の契約担当をしていた事務職員が、取引業者に対して架空請求を行い、不適切な会計処理を行っていた旨の報告があり、現在、事実関係の調査に基づき、処分について検討している旨の発言があった。
また、井手副学長から、今後このようなことがないよう、監査体制を見直していきたい旨の発言があった。
 - ③ 定年退職者等歓送会について
総務課長から、定年退職者等歓送会を3月31日17時半から大学生協中央食堂において実施するので、是非参加いただきたい旨の説明があった。
 - ④ 任期満了に伴う委員の紹介について
学長から、3月31日付けで任期満了となる部局長等の紹介があった。
 - ⑤ 事務系幹部職員の人事異動の紹介について
井手副学長から、3月31日付けで退職する幹部職員及び4月1日付けで他の機関に異動する幹部職員について紹介があった。
 - ⑥ 琉球大学公式ホームページについて
学長から、本学のホームページについて、学生の意見を聴取し、魅力ある内容に改善していきたい旨の発言があり、各部局等においては、管理するホームページに絵や標語などを用い、学生が興味を持つような内容にして改善していただきたい旨の発言があった。